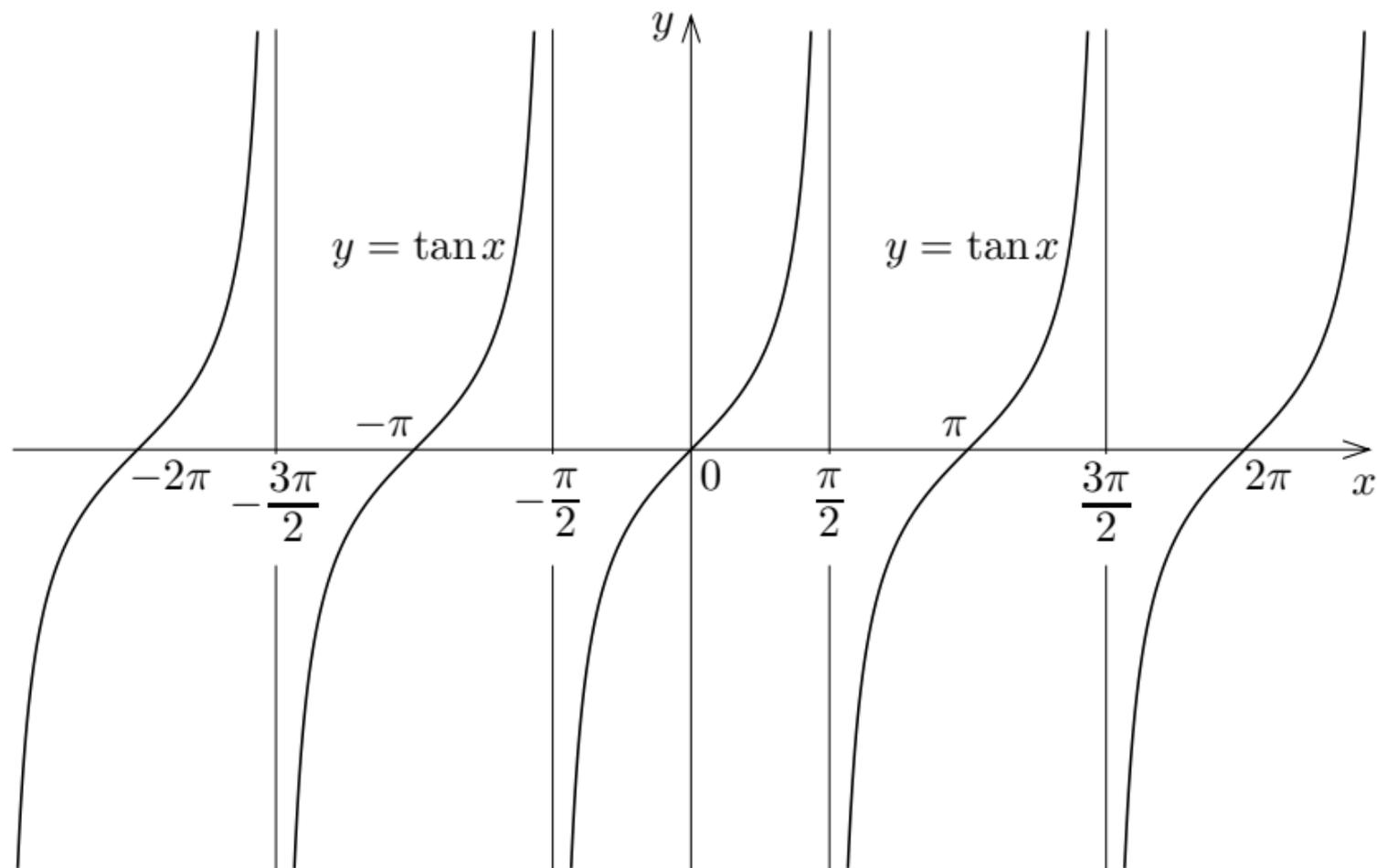


11. 拡充1 正接関数との合成関数のグラフ

xy 座標平面における正接関数 $y = \tan x$ のグラフは次のようになる。



正接関数 $\tan x$ は奇関数なので、 $y = \tan x$ のグラフは原点に関して対称な曲線である.

正の定数 a 及び定数 b に対して xy 座標平面における関数 $y = \tan(ax + b)$ のグラフを考える.

正の定数 a 及び定数 b に対して xy 座標平面における関数 $y = \tan(ax + b)$ のグラフを考える. 基本周期を p とおく. $p = \frac{\pi}{a}$.

正の定数 a 及び定数 b に対して xy 座標平面における関数 $y = \tan(ax + b)$ のグラフを考える. 基本周期を p とおく. $p = \frac{\pi}{a}$. 関数 $y = \tan(ax + b)$ について, グラフの 1 本の漸近線を表す方程式は, $ax + b = \frac{\pi}{2}$, つまり $x = -\frac{b}{a} + \frac{\pi}{2a}$ である.

正の定数 a 及び定数 b に対して xy 座標平面における関数 $y = \tan(ax + b)$ のグラフを考える. 基本周期を p とおく. $p = \frac{\pi}{a}$. 関数 $y = \tan(ax + b)$

について, グラフの 1 本の漸近線を表す方程式は, $ax + b = \frac{\pi}{2}$, つま

り $x = -\frac{b}{a} + \frac{\pi}{2a}$ である. 基本周期が $\frac{\pi}{a}$ なので, 漸近線を表す方程式

は, $x = -\frac{b}{a} + \frac{\pi}{2a} - \frac{\pi}{a}$ つまり $x = -\frac{b}{a} - \frac{\pi}{2a}$, $x = -\frac{b}{a} + \frac{\pi}{2a} + \frac{\pi}{a}$ つまり

$x = -\frac{b}{a} + \frac{3\pi}{2a}$, $x = -\frac{b}{a} + \frac{\pi}{2a} - \frac{2\pi}{a}$ つまり $x = -\frac{b}{a} - \frac{3\pi}{2a}$, などである.

正の定数 a 及び定数 b に対して xy 座標平面における関数 $y = \tan(ax + b)$ のグラフを考える. 基本周期を p とおく. $p = \frac{\pi}{a}$. 関数 $y = \tan(ax + b)$

について, グラフの 1 本の漸近線を表す方程式は, $ax + b = \frac{\pi}{2}$, つま

り $x = -\frac{b}{a} + \frac{\pi}{2a}$ である. 基本周期が $\frac{\pi}{a}$ なので, 漸近線を表す方程式

は, $x = -\frac{b}{a} + \frac{\pi}{2a} - \frac{\pi}{a}$ つまり $x = -\frac{b}{a} - \frac{\pi}{2a}$, $x = -\frac{b}{a} + \frac{\pi}{2a} + \frac{\pi}{a}$ つまり

$x = -\frac{b}{a} + \frac{3\pi}{2a}$, $x = -\frac{b}{a} + \frac{\pi}{2a} - \frac{2\pi}{a}$ つまり $x = -\frac{b}{a} - \frac{3\pi}{2a}$, などである.

$ax + b = 0$ つまり $x = -\frac{b}{a}$ のとき $y = \tan(ax + b) = \tan 0 = 0$. グラフと x

軸との 1 個の共有点の x 座標は $-\frac{b}{a}$ である.

正の定数 a 及び定数 b に対して xy 座標平面における関数 $y = \tan(ax + b)$ のグラフを考える. 基本周期を p とおく. $p = \frac{\pi}{a}$. 関数 $y = \tan(ax + b)$

について, グラフの 1 本の漸近線を表す方程式は, $ax + b = \frac{\pi}{2}$, つま

り $x = -\frac{b}{a} + \frac{\pi}{2a}$ である. 基本周期が $\frac{\pi}{a}$ なので, 漸近線を表す方程式

は, $x = -\frac{b}{a} + \frac{\pi}{2a} - \frac{\pi}{a}$ つまり $x = -\frac{b}{a} - \frac{\pi}{2a}$, $x = -\frac{b}{a} + \frac{\pi}{2a} + \frac{\pi}{a}$ つまり

$x = -\frac{b}{a} + \frac{3\pi}{2a}$, $x = -\frac{b}{a} + \frac{\pi}{2a} - \frac{2\pi}{a}$ つまり $x = -\frac{b}{a} - \frac{3\pi}{2a}$, などである.

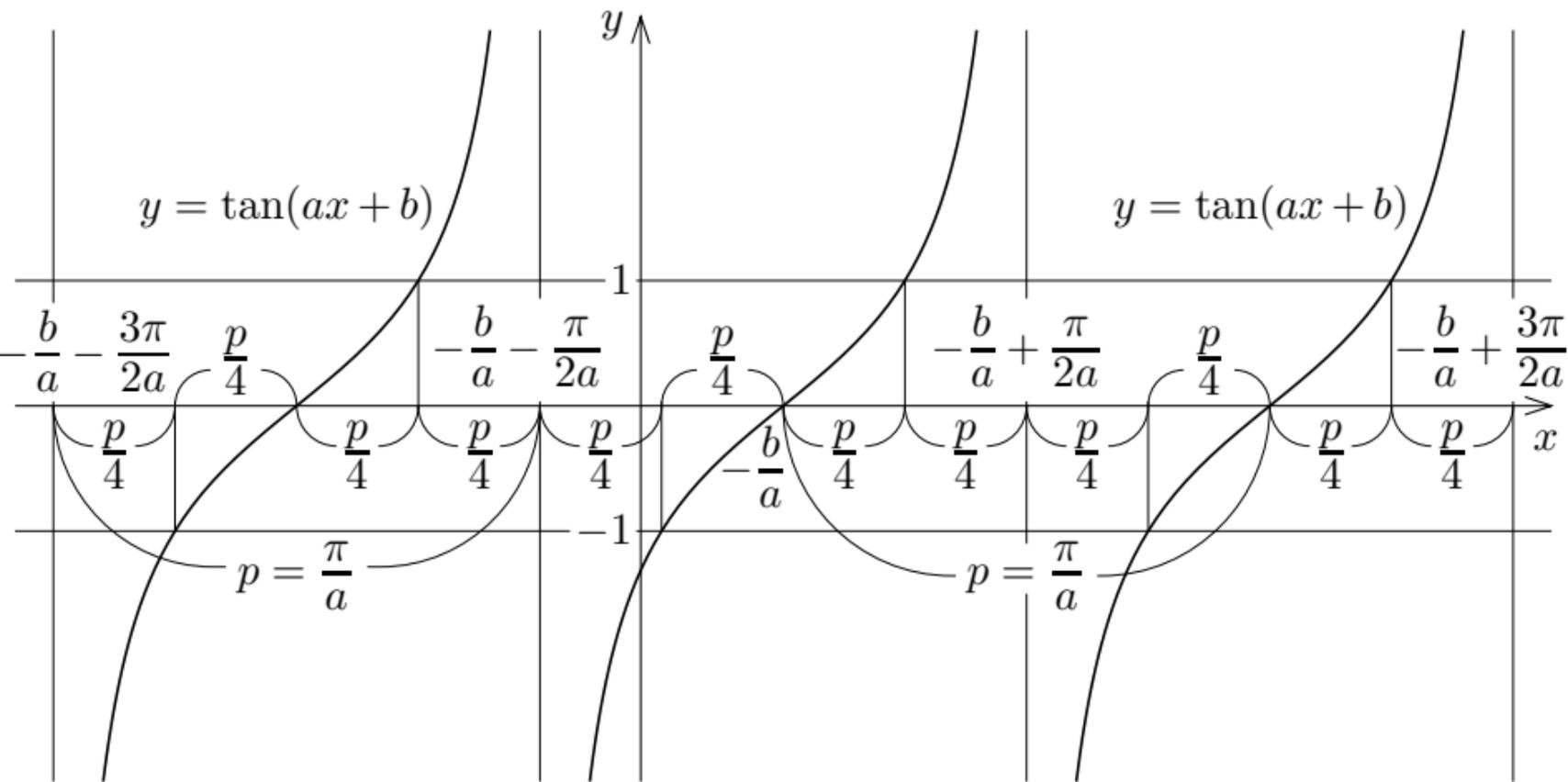
$ax + b = 0$ つまり $x = -\frac{b}{a}$ のとき $y = \tan(ax + b) = \tan 0 = 0$. グラフと x

軸との 1 個の共有点の x 座標は $-\frac{b}{a}$ である. 基本周期が $\frac{\pi}{a}$ なので, グラフ

と x 軸との共有点の x 座標は, $-\frac{b}{a}$, $-\frac{b}{a} + \frac{\pi}{a} = \frac{\pi - b}{a}$, $-\frac{b}{a} - \frac{\pi}{a} = -\frac{b + \pi}{a}$,

$-\frac{b}{a} + \frac{2\pi}{a} = \frac{2\pi - b}{a}$, $-\frac{b}{a} - \frac{2\pi}{a} = -\frac{b + 2\pi}{a}$ などである.

xy 座標平面における関数 $y = \tan(ax + b)$ のグラフは次のようになる。基本周期は $p = \frac{\pi}{a}$ である。



例 xy 座標平面において関数 $y = \tan \frac{x - 2\pi}{3}$ のグラフを描く.

例 xy 座標平面において関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ のグラフを描く. 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ の基本周期は $\pi \div \left| \frac{1}{3} \right| = 3\pi$ である. 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ のグラフの漸近線の一つは方程式 $\frac{x-2\pi}{3} = \frac{\pi}{2}$ つまり $x = \frac{7\pi}{2}$ で表される. 基本周期が 3π なので, 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ のグラフの漸近線の幾つかについて表す方程式は

例 xy 座標平面において関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ のグラフを描く. 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ の基本周期は $\pi \div \left| \frac{1}{3} \right| = 3\pi$ である. 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ のグラフの漸近線の一つは方程式 $\frac{x-2\pi}{3} = \frac{\pi}{2}$ つまり $x = \frac{7\pi}{2}$ で表される. 基本周期が 3π なので, 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ のグラフの漸近線の幾つかについて表す方程式は

$$x = \frac{7\pi}{2}, \quad x = \frac{\pi}{2}, \quad x = -\frac{5\pi}{2}.$$

例 xy 座標平面において関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ のグラフを描く. 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ の基本周期は $\pi \div \left| \frac{1}{3} \right| = 3\pi$ である. 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ のグラフの漸近線の一つは方程式 $\frac{x-2\pi}{3} = \frac{\pi}{2}$ つまり $x = \frac{7\pi}{2}$ で表される. 基本周期が 3π なので, 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ のグラフの漸近線の幾つかについて表す方程式は

$$x = \frac{7\pi}{2}, \quad x = \frac{\pi}{2}, \quad x = -\frac{5\pi}{2}.$$

関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ について, $\frac{x-2\pi}{3} = 0$ つまり $x = 2\pi$ のとき, $y = \tan \frac{x-2\pi}{3} = \tan 0 = 0$. 基本周期が 3π なので, 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ のグラフと x 軸との共有点の幾つかの x 座標は,

$$2\pi, \quad 2\pi + 3\pi = 5\pi, \quad 2\pi - 3\pi = -\pi, \quad 2\pi + 6\pi = 8\pi, \quad 2\pi - 6\pi = -4\pi.$$

正接関数 $y = \tan x$ について, $x = \frac{\pi}{4}$ のとき $y = \tan x = \tan \frac{\pi}{4} = 1$.

正接関数 $y = \tan x$ について, $x = \frac{\pi}{4}$ のとき $y = \tan x = \tan \frac{\pi}{4} = 1$.

関数 $y = \tan \frac{x - 2\pi}{3}$ について, $\frac{x - 2\pi}{3} = \frac{\pi}{4}$ つまり $x = \frac{11\pi}{4}$ のとき,

$$y = \tan \frac{x - 2\pi}{3} = \tan \frac{\pi}{4} = 1 .$$

正接関数 $y = \tan x$ について, $x = \frac{\pi}{4}$ のとき $y = \tan x = \tan \frac{\pi}{4} = 1$.

関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ について, $\frac{x-2\pi}{3} = \frac{\pi}{4}$ つまり $x = \frac{11\pi}{4}$ のとき,
 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3} = \tan \frac{\pi}{4} = 1$. 基本周期が 3π なので, 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ の
グラフの点で y 座標が 1 である点の幾つかの x 座標は,

$$\frac{11\pi}{4}, \quad \frac{11\pi}{4} - 3\pi = -\frac{\pi}{4}, \quad \frac{11\pi}{4} - 6\pi = -\frac{13\pi}{4} .$$

正接関数 $y = \tan x$ について, $x = \frac{\pi}{4}$ のとき $y = \tan x = \tan \frac{\pi}{4} = 1$.

関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ について, $\frac{x-2\pi}{3} = \frac{\pi}{4}$ つまり $x = \frac{11\pi}{4}$ のとき,
 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3} = \tan \frac{\pi}{4} = 1$. 基本周期が 3π なので, 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ の
グラフの点で y 座標が 1 である点の幾つかの x 座標は,

$$\frac{11\pi}{4}, \quad \frac{11\pi}{4} - 3\pi = -\frac{\pi}{4}, \quad \frac{11\pi}{4} - 6\pi = -\frac{13\pi}{4} .$$

正接関数 $y = \tan x$ について, $x = -\frac{\pi}{4}$ のとき $y = \tan x = \tan\left(-\frac{\pi}{4}\right) = -1$.

正接関数 $y = \tan x$ について, $x = \frac{\pi}{4}$ のとき $y = \tan x = \tan \frac{\pi}{4} = 1$.

関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ について, $\frac{x-2\pi}{3} = \frac{\pi}{4}$ つまり $x = \frac{11\pi}{4}$ のとき,
 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3} = \tan \frac{\pi}{4} = 1$. 基本周期が 3π なので, 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ の
グラフの点で y 座標が 1 である点の幾つかの x 座標は,

$$\frac{11\pi}{4}, \quad \frac{11\pi}{4} - 3\pi = -\frac{\pi}{4}, \quad \frac{11\pi}{4} - 6\pi = -\frac{13\pi}{4} .$$

正接関数 $y = \tan x$ について, $x = -\frac{\pi}{4}$ のとき $y = \tan x = \tan\left(-\frac{\pi}{4}\right) = -1$.

関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ について, $\frac{x-2\pi}{3} = -\frac{\pi}{4}$ つまり $x = \frac{5\pi}{4}$ のとき,
 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3} = \tan\left(-\frac{\pi}{4}\right) = -1$.

正接関数 $y = \tan x$ について, $x = \frac{\pi}{4}$ のとき $y = \tan x = \tan \frac{\pi}{4} = 1$.

関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ について, $\frac{x-2\pi}{3} = \frac{\pi}{4}$ つまり $x = \frac{11\pi}{4}$ のとき,
 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3} = \tan \frac{\pi}{4} = 1$. 基本周期が 3π なので, 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ の
グラフの点で y 座標が 1 である点の幾つかの x 座標は,

$$\frac{11\pi}{4}, \quad \frac{11\pi}{4} - 3\pi = -\frac{\pi}{4}, \quad \frac{11\pi}{4} - 6\pi = -\frac{13\pi}{4} .$$

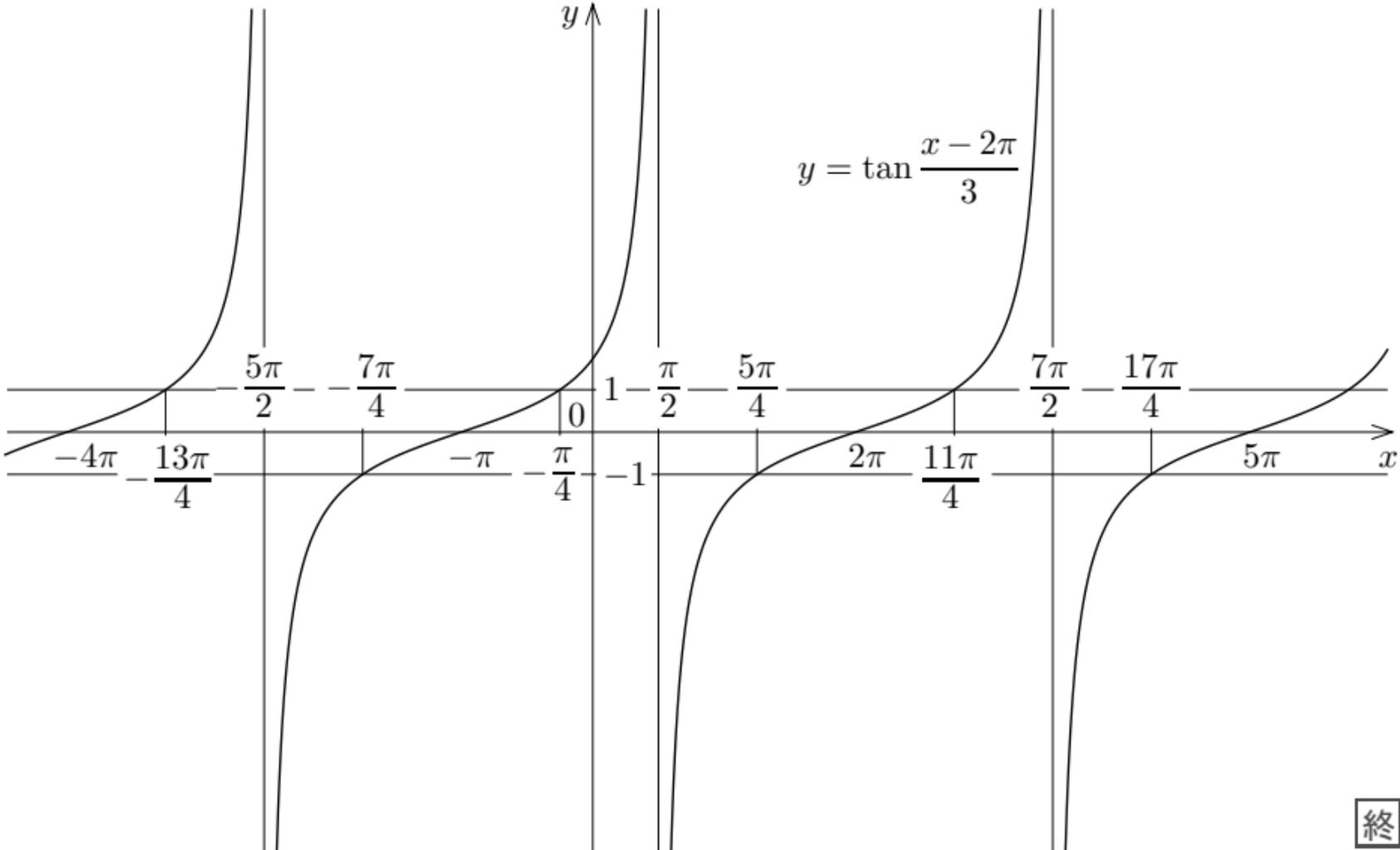
正接関数 $y = \tan x$ について, $x = -\frac{\pi}{4}$ のとき $y = \tan x = \tan\left(-\frac{\pi}{4}\right) = -1$.

関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$ について, $\frac{x-2\pi}{3} = -\frac{\pi}{4}$ つまり $x = \frac{5\pi}{4}$ のとき,
 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3} = \tan\left(-\frac{\pi}{4}\right) = -1$. 基本周期が 3π なので, 関数 $y = \tan \frac{x-2\pi}{3}$
のグラフの点で y 座標が -1 である点の幾つかの x 座標は,

$$\frac{5\pi}{4}, \quad \frac{5\pi}{4} - 3\pi = -\frac{7\pi}{4}, \quad \frac{5\pi}{4} + 3\pi = \frac{17\pi}{4} .$$

関数 $y = \tan \frac{x - 2\pi}{3}$ のグラフは次のようになる.

$$y = \tan \frac{x - 2\pi}{3}$$



問11. 拡充1 xy 座標平面において関数 $y = \tan \frac{2x + \pi}{6}$ のグラフを描け.

基本周期は $\pi \div \left| \frac{2x + \pi}{6} \right| =$ である. $\frac{2x + \pi}{6} =$ とすると $x =$. グラフの漸近線の幾つかについて表す方程式は,

$$x = \quad , \quad x = \quad , \quad x = \quad , \quad x = \quad .$$

$\frac{2x + \pi}{6} = 0$ つまり $x =$ のとき $y = \tan \frac{2x + \pi}{6} = \tan 0 = 0$. グラフと x 軸との共有点の幾つかの x 座標は,

$$\quad , \quad \quad ,$$

問11. 拡充1 xy 座標平面において関数 $y = \tan \frac{2x + \pi}{6}$ のグラフを描け.

基本周期は $\pi \div \left| \frac{2}{6} \right| = 3\pi$ である. $\frac{2x + \pi}{6} = \frac{\pi}{2}$ とすると $x = \pi$. グラフの漸近線の幾つかについて表す方程式は,

$$x = \pi, \quad x = -2\pi, \quad x = 4\pi, \quad x = -5\pi.$$

$\frac{2x + \pi}{6} = 0$ つまり $x = \frac{\pi}{2}$ のとき $y = \tan \frac{2x + \pi}{6} = \tan 0 = 0$. グラフと x 軸との共有点の幾つかの x 座標は,

$$-\frac{\pi}{2}, \quad -\frac{\pi}{2} + 3\pi = \frac{5\pi}{2}, \quad -\frac{\pi}{2} - 3\pi = -\frac{7\pi}{2}, \quad -\frac{\pi}{2} + 6\pi = \frac{11\pi}{2}.$$

$\frac{2x + \pi}{6} = \frac{\pi}{4}$ つまり $x = \frac{\pi}{4}$ のとき $y = \tan \frac{2x + \pi}{6} = \tan \frac{\pi}{4} = 1$. グラフの点
で y 座標が 1 の点の幾つかの x 座標は,

$\frac{\pi}{4}, \frac{7\pi}{4}, \frac{13\pi}{4}, \dots$

$\frac{2x + \pi}{6} = -\frac{\pi}{4}$ つまり $x = -\frac{\pi}{4}$ のとき $y = \tan \frac{2x + \pi}{6} = \tan\left(-\frac{\pi}{4}\right) = -1$.
グラフの点で y 座標が -1 の点の幾つかの x 座標は,

$-\frac{\pi}{4}, \frac{5\pi}{4}, \frac{11\pi}{4}, \dots$

関数 $y = \tan \frac{2x + \pi}{6}$ のグラフは次のようになる.

$\frac{2x + \pi}{6} = \frac{\pi}{4}$ つまり $x = \frac{\pi}{4}$ のとき $y = \tan \frac{2x + \pi}{6} = \tan \frac{\pi}{4} = 1$. グラフの点で y 座標が 1 の点の幾つかの x 座標は,

$$\frac{\pi}{4}, \quad \frac{\pi}{4} - 3\pi = -\frac{11\pi}{4}, \quad \frac{\pi}{4} + 3\pi = -\frac{13\pi}{4} .$$

$\frac{2x + \pi}{6} = -\frac{\pi}{4}$ つまり $x = -\frac{5\pi}{4}$ のとき $y = \tan \frac{2x + \pi}{6} = \tan\left(-\frac{\pi}{4}\right) = -1$.
グラフの点で y 座標が -1 の点の幾つかの x 座標は,

$$-\frac{5\pi}{4}, \quad -\frac{5\pi}{4} + 3\pi = \frac{7\pi}{4}, \quad -\frac{5\pi}{4} - 3\pi = -\frac{17\pi}{4} .$$

関数 $y = \tan \frac{2x + \pi}{6}$ のグラフは次のようになる.

